

# 予防技術検定模擬テスト

— 解説付 —

No.28

**〔共通〕** 問1 次の文のうち、消防法令上、防災管理に係る消防計画をおおむね作成すべき事項として定められていないものを1つ選べ。

- (1) 避難通路、避難口その他の避難施設の維持管理及びその案内に関する事。
- (2) 定員の遵守その他収容人員の適正化に関する事。
- (3) 火災、地震その他の災害が発生した場合における消火活動、通報連絡及び避難誘導に関する事。
- (4) 避難の訓練その他防災管理上必要な訓練の結果を踏まえた防災管理に係る消防計画の内容の検証及び当該検証の結果に基づく当該消防計画の見直しに関する事。

**〔消防用設備等〕** 問1 次の設備又はその部分の設置に係る工事のうち、消防法令上、消防設備士でなければ行ってはならないものを1つ選べ。

- (1) スプリンクラー設備の電源、水源及び配管の部分
- (2) 自動火災報知設備の電源の部分
- (3) 固定式の金属製避難はしご
- (4) 漏電火災警報器

**〔消防用設備等〕** 問2 ハロゲン化物消火設備に関する次の文を読み、消防法令上誤っているものを1つ選べ。

- (1) 全域放出方式又は局所放出方式のハロゲン化物消火設備に使用する消火剤は、ハロン2402、ハロン1211、ハロン1301、HFC-23又はHFC-227e aのいずれかに限られる。
- (2) 鍛造場、ボイラー室、乾燥室その他多量の火気を使用する部分に設置される全域放出方式のハロゲン化物消火設備に使用する消火剤は、ハロン1301に限られる。
- (3) 通信機器室で常時人のいない部分に設置される全域放出方式のハロゲン化物消火設備に使用する消火剤は、HFC-23又はHFC-227e aのいずれかに限られる。
- (4) 指定可燃物を貯蔵し、又は取り扱う防火対象物又はその部分に設置される全域放出方式のハロゲン化物消火設備に使用する消火剤は、ハロン2402、ハロン1211又はハロン1301のいずれかに限られる。

答

解説

- (1) 消防法施行規則第51条の8第1項第1号ロ。
- (2) 消防法施行規則第51条の8第1項第1号ハ。
- (3) 消防法施行規則第3条第1号により、防火管理に係る消防計画をおおむね作成すべき事項としては定められているが、防災管理に係る消防計画をおおむね作成すべき事項としては定められていない。
- (4) 消防法施行規則第51条の8第1項第1号ホ及びト。

答

解説

- (1) 消防法施行令第36条の2第1項柱書き。
- (2) 消防法施行令第36条の2第1項柱書き。
- (3) 消防法施行令第36条第1項第11号。
- (4) 消防法施行令第36条第2項第3号により消防設備士でなければ行ってはならない整備の対象とされているが、消防設備士でなければ行ってはならない設置に係る工事の対象とはされていない。

答

解説

- (1) 消防法施行規則第20条第4項第2号。
- (2) 消防法施行規則第20条第4項第2の2号。
- (3) 消防法施行規則第20条第4項第2の2号により、ハロン1301を使用することもできる。
- (4) 消防法施行規則第20条第4項第2の2号。

**【防火査察】問1** 違反処理に関する記述のうち、適当でないものは次のうちどれか。

- (1) 命令を行ったときの公示は、防火対象物に火災予防上の危険等があるため、消防機関によって措置命令が発せられたが、命令内容が未だ履行される前の状態にあることを周知することで、当該防火対象物の利用者等が、不測の損害を被ることを防ぐためのものである。
- (2) 告発は、告訴権者（犯罪による被害者等）及び違反者（犯人）以外の第三者が、捜査機関（警察又は検察）に対し、違反事実（消防法令違反）を申告して、処罰を求める意思表示である。
- (3) 実況見分は法第4条に規定する立入検査権などに基づき行なうものではなく、関係者の任意の協力を得て実施するものであり、見分者は現場を客観的に見分し、自己の先入観や過去の経験にとらわれず、ありのままの現場を見分する必要がある。
- (4) 過料とは、金銭罰の一種であり、刑罰である罰金及び料と区別される。その性質から、①秩序罰としての過料、②執行罰としての過料、③懲戒罰としての過料に大別されるが、消防法に規定する過料は、秩序罰としての過料にあたる。

**【防火査察】問2** 消防法に（以下「法」という。）基づき命令を発した場合における各命令の主体、公示の義務及び審査請求期間の組み合わせに関する記述のうち、正しいものは次のうちどれか。

|     | 命令の主体及び命令内容                                      | 公示の義務 | 審査請求期間                      |
|-----|--|-------|-----------------------------|
| (1) | 消防吏員が法第5条の3第1項に基づき発動した防火対象物に対する措置命令              | 有     | 命令を受けた日の翌日から起算して30日以内       |
| (2) | 消防署長が法第5条の2第1項に基づき発動した防火対象物に対する措置命令（使用禁止・停止・制限等） | 無     | 命令を受けた日の翌日から起算して30日以内       |
| (3) | 消防吏員が法第8条第3項に基づき発動した防火管理者選任命令                    | 有     | 命令のあったことを知った日の翌日から起算して60日以内 |
| (4) | 消防署長が法第17条の4第1項に基づき発動した消防用設備等の改修命令               | 有     | 命令のあったことを知った日の翌日から起算して30日以内 |

**【危険物】問1** 次のうち予防規程に定めなければならない事項とされていないものはどれか。

- (1) 危険物の取扱工程又は設備等の変更に伴う危険要因の把握及び当該危険要因に対する対策に関すること。
- (2) 危険物施設の運転又は操作に関すること。
- (3) 危険物の保安に関する記録に関すること。
- (4) 危険物施設の変更許可申請等の手続きに関すること。
- (5) 製造所等の位置、構造及び設備を明示した書類及び図面の整備に関すること。

**【危険物】問2** 次の製造所等の位置、構造及び設備の基準のうち、取り扱う危険物の数量に応じて基準の適用が区分されていないものはどれか。

- (1) 保安距離
- (2) 消火設備

**答  
解説**

- (1) 違反処理マニュアルによる。
- (2) 違反処理マニュアルによる。
- (3) 実況見分は法第4条に規定する立入検査権などに基づき行なうものである。
- (4) 違反処理マニュアルによる。

**答  
解説**

- (1) 法第5条の3、法第5条の4に基づく。
- (2) 法第5条の3第2項に基づき公示義務がある。
- (3) 法第5条第3項命令の主体は消防長又は消防署長である。
- (4) 審査請求期間については、行政不服審査法第14条第1項に基づき、「命令のあったことを知った日の翌日から起算して60日以内」である。

**答**

**解説** 製造所等における危険物の貯蔵及び取扱いの保安確保、災害時における応急措置等に関し、それぞれの製造所等の実態に応じた予防規程を定め、市町村長等の認可を受けなければならないこととされている。

**【参照条文】**

危険物の規制に関する規則第60条の2第1項。

消防法第14条の2第1項。

**答**

**解説** 製造所等の位置、構造及び設備の基準には、危険物の貯蔵・取扱形態、最大数量等に応じて定められて

- (3) 警報設備
- (4) 保有空地
- (5) 避雷設備

いるものがある。

〔参照条文〕

危険物の規制に関する政令第9条第1項、第20条、第21条他。

## 昇任試験実力養成講座・救急救命士国家試験問題模擬テスト・予防技術検定模擬テスト〈解答〉

### —— 昇任試験実力養成講座 ——

共通（消防士長・消防司令補）問題

#### 〔地方自治〕

問1 答 (ア) 法律 (イ) 役務の提供  
(ウ) 負担を分任

問2 答 (3)

#### 〔地公法〕

問1 答 (2)

問2 答 (5)

#### 〔消防組織〕

問1 答 (4)

問2 答 (3)

問3 答 (4)

#### 〔消防法規〕

問1 答 (2)

問2 答 (3)

問3 答 ① オ ② カ ③ ケ  
④ ク ⑤ エ

問4 答 ① サ ② ク ③ オ  
④ コ ⑤ カ

#### 〔消防設備〕

問1 答 (1)

問2 答 (4)

問3 答 (3)

問4 答 (3)

問5 答 ① (5)項イ ② (6)項イ  
③ (9)項イ

問6 答 (3)

問7 答 (2)

問8 答 (3)、(5)

#### 〔建築法規〕

問1 答 (1) 屋根 (2) 火の粉  
(3) 用途 (4) 技術的基準  
(5) 認定

問2 答 (5)

#### 〔危険物〕

問1 答 (4)

問2 答 (4)

#### 〔防災〕

問1 答 (3)

問2 答 (5)

問3 答 (4)

#### 〔救急〕

問1 答 (2)

#### 〔救助〕

問1 答 (1)× (2)○ (3)× (4)×  
(5)×

#### 〔石油コンビナート〕

問1 答 (4)

問2 答 (2)

#### 〔原子力〕

問1 答 (3)

問2 答 (4)

#### 〔無線法規〕

問1 答 (5)

#### 〔無線工学〕

問1 答 (2)

#### 〔国民保護〕

問1 答 (2)

問2 答 (3)

#### 〔警防〕

問1 答 (3)

問2 答 (1)

問3 答 (2)

### —— 消防司令問題 ——

#### 〔組織管理〕

問1 答 (4)

#### 〔人事管理〕

問1 答 (5)

#### 〔消防財政〕

問1 答 (5)

#### 〔警防〕

問1 答 (3)

問2 答 (5)

問3 答 (5)

#### 〔救急〕

問1 答 (5)

= 救急救命士国家試験問題模擬テスト =

#### 〔一般問題〕

問1 答 (3)

問2 答 (3)、(5)

問3 答 (3)

問4 答 (1)、(3)

#### 〔状況設定問題〕

問1 答 (4)

問2 答 (1)

—— 予防技術検定模擬テスト ——

#### 〔共通〕

問1 答 (3)

#### 〔消防用設備等〕

問1 答 (3)

問2 答 (3)

#### 〔防火査察〕

問1 答 (3)

問2 答 (1)

#### 〔危険物〕

問1 答 (4)

問2 答 (1)